

演習が早く終わってしまう人へ

石井健太郎

Emacsの達人になろう

- Unix入門でも教わっているかもしれないが、Emacsは慣れるととても便利なエディタである
 - 慣れるまではなんて使いにくいんだろうと思っていることだろう
- キー操作をマスターすれば、マウスを一切触らなくてもよく、しかも、マウスを使うよりもずっと高速に(たぶん)すべてのことができる
 - つまり、ホームポジションからまったく手を動かさなくてもよい
 - タッチタイピングをマスターできているとなおさらこのことがうれしい
 - (たぶん)すべてのことができる→少なくともほぼすべてのことができる
- 2年後期までの演習はすべてEmacsを使うから高速に操れるとそれだけ学習も進むよ
- リモートログインする場合もマウスを使わずにEmacsを操れるなら演習室以外からも大学の学習ができるよ
- だから、演習であまった時間はEmacsの練習をしよう

まず前提として

- EmacsはCtrlキーを多用するので、もとのCtrlキーの位置は押しづらい
 - そこで、CapsLockキーもCtrlキーにしてしまうと幸せ(やったほうがいい)
 - .cshrc に setxkbmap -option ctrl:nocaps と書く
 - または、CapsLockキーとCtrlキーを入れ替えると幸せ(やったほうがいい)
 - .cshrc に setxkbmap -option ctrl:swapcaps と書く
- ちなみに、Windowsでこれをやりたい場合、regeditで以下のキーを追加する
 - HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Keyboard Layout¥Scancode Map
 - CapsLockをCtrlにしてみたい場合
00 00 00 00 00 00 00 00
02 00 00 00 1D 00 3A 00
00 00 00 00
 - 入れ替えたい場合
00 00 00 00 00 00 00 00
03 00 00 00 1D 00 3A 00
3A 00 1D 00 00 00 00 00

覚えたほうがいいキー操作

- C- はCtrlキーを押しながらを意味する。 M- はメタキー(Altキー)を押しながら, または, Escキーを押してからを意味する。
- 無意識に出てくるまで暗記してもらうことを意図して, あえてどういう操作かは書いていない。 最初は調べるとよい。

- C-g

- C-x C-s

- C-x C-c

- C-x C-f

- C-x b

- C-k

- C- (SP)

- C-w

- M-w

- C-y

- C-f

- C-b

- C-n

- C-p

- C-a

- C-e

- C-v

- M-v

- M-<

- M->

- C-s

- M-%

それでも時間があまってしまったら

- バージョン管理システムを勉強するとよい
- 大学の演習室では git が使えるようだ
- コマンドの使いかたは man コマンド (Linuxはとにかくman)
 - man の使いかたは man man
- バージョン管理システムの概念はウェブサイト検索して学習しよう

それでももの足りない人へ

- 後期の演習を始めてしまうのがよい
- C演習I（2015年度分）

<http://lss.oit.ac.jp/~t2015039/2015/censyu/index.html>

やったほうがいいとは言わないが.. (プログラムを書くにはおすすめ)

- キーボードを英語配列に変える

- regedit

- HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥i8042prt¥Parameters

- LayerDriver JPN: kbd106.dll → kbd101.dll

- OverrideKeyboardIdentifier: PCAT_106KEY → PCAT_101KEY

- OverrideKeyboardSubtype: 2 → 0

- (大学の)Linuxでこれをやりたい場合, .cshrc に
setxkbmap -layout us と書く